

かみくげ 恐竜の里新聞

平成二〇年八月二五日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第2号

上久下
地域づくり
センター
0795 78 0001

発掘現場に 等身大恐竜モニュメント！

上久下自治協議会では、昨年度に引き続き今年度も「丹波地域団体活動パワーアップ事業」に応募し、一位で審査を通過しました。

応募したテーマは、「等身大恐竜モニュメントと足跡アートをみんなで作ろう」です。さる五月一四日に丹波の森公苑において公開審査がおこなわれました。

丹波市、篠山市の両市から計三二団体の申し込みがありましたが、その中で一位で審査を通過し、助成金三四万円が交付されることになりました。

等身大恐竜モニュメントは、間伐材を利用した平板モニュメント（体長二〇メートル、高さ五メートル）を発掘現場近くに作る計画で、今夏までの完成をめざしています。

また、足跡アートは下滝駅から発掘現場までの一キロ余りの歩道上に、上久下小学校の児童の描いた恐竜の足跡をペンキで描き、電車での来訪者の道しる

べとします。

恐竜の里づくり協議会では上久下地区全域に幅広くボランティア参加を呼びかけています。



等身大恐竜モニュメントのイメージ

丹波竜を世界に紹介

井戸知事 世界環境大臣会議で

環境大臣会議で丹波竜が世界に紹介されました。

井戸兵庫県知事はさる五月二五日、神戸市で開かれた主要国環境大臣会議の席において、各国の閣僚らに前に

「丹波市から一億二〇〇〇万年前の大型恐竜の化石が発見された」

とその内容と意義について世界に紹介しました。

丹波竜の発見地として、自信と誇りをもって地域の活性化に一緒になって取り組みましょう。

のぼり旗を地域の商店に寄贈

里づくり協議会ではこのたび地域の商店にのぼり旗をプレゼントします。

里づくり協議会ではこれまで、丹波竜お守りやキーホルダーなどを作成し、販売してきましたが、その収益の一部で地域の商店に、それぞれ商店名の入ったのぼり旗を寄贈することになりました。

六月一〇日よりJA上久下店横に営業を再開したスーパを歓迎すると、既存の店舗への激励を込めて手渡すことを決めたものです。

化石発見以来、当地への見学者は4万人にのぼり、地域として心をこめた「おもてなし」ができるといいですね。

化石発見 2周年イベント

8月に地元で開催予定

昨年度に引き続き、今年も八月一〇日（日曜日）に化石発見2周年イベントを開催します。

場所は旧発電所周辺と見学者駐車場。主な催しとして、次のような内容を考えています。

- ・発掘現場1日開放、地層・断層学習
- ・まとまった化石群のレプリカ展示
- ・化石発見体験教室
- ・大人とこどもの七夕まつり
- ・旧発電所写真展
- ・バザー、その他

みなさんの参加で地域の盛り上がりをも市内外に発信しましょう。



寄贈されたのぼり旗



プレート伝達式の様子

旧発電所が有形文化財に プレートの伝達式が行われる

さる五月一六日、旧上久下村発電所において、有形文化財プレートの伝達式がこなわれました。

上滝の旧上久下村発電所は今年三月に国の登録有形文化財に指定されましたが、このたび文化庁から交付された登録プレートの伝達式が辻市長出席のもとで行われました。丹波市内では三か所目となります。

私たちの先人の暮らしをささえた貴重な建築遺産を、地域のシンボルとして大切に守っていきましよう。
建物保存のための調査と活用方法は、今年の秋までにまとめられる予定です。



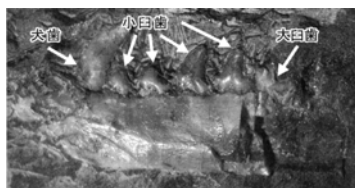
有形文化財のプレート

篠山市で哺乳類化石発見

篠山市に分布する白亜紀前期（一億四千万年前）の地層から国内最古級の小型は哺乳類の化石が発見され注目をあびています。丹波竜と同じ時代の地層の中での発見で、いずれ篠山市でも貴重な化石が見つかるであろうと予想されていました。

見つかったのは小型は哺乳類の下あご部分等で丹波市の大型草食恐竜と同時代に生きた小動物で学術的に価値の高い発見です。

今後は丹波市・篠山市の垣根をこえた篠山層群の調査と研究が行われます。



丹波竜発掘の現状

二次発掘を終えて

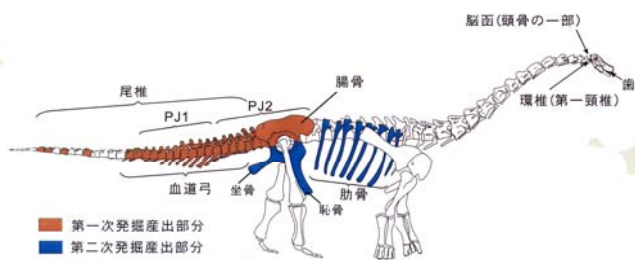
丹波竜二次発掘を終えて産出した化石の数は全体の約三〇%となりました。これまでに見つかった部位は左の図に示すとおりです。

一個体の連なった状態で産出されるのは国内でも初めてで、新種の可能性も出てきています。

現在も土日には、発掘現場を訪れる人の数は一〇〇名以上にもなり、関心の高さがうかがえます。

三次発掘は今年の年末から始まる予定で、手掘調査は平成二十一年一月早々からなっています。今後新しい部位の発見が期待されています。

竜脚類化石の産出部位



産出した部分は、模様がついた部分のいずれかに相当すると考えられる。
この骨格図は特定の竜脚類その物ではなく、オビストコエリカウディアおよびラベトサウルスを参考にしてティタノサウルス形類一般に広く見られる形態を想定して書いたもの。

平成二〇年度大和支援事業申請に着手

上久下自治協議会

上久下自治協議会と恐竜の里づくり協議会は、次の大型支援事業に申請を検討しています。

- 1 農林水産省所管の農山漁村（ふるさと）地域力発掘支援モデル事業
五年間 上限一千万円
- 2 県民交流広場事業
五年間 一千三〇〇万円

これらは国・県がふるさとづくり計画、活力ある地域社会の構築をめざす活動を支援するものです。わたしたちの熱い思いが伝わり、上久下がモデル地区として採択されれば、活動計画を具体的に推進していくと考えています。みなさんのご協力を心から願っています。

皆さんといっしょに、 元気な上久下を作りましょう！

里づくり協議会では、まちづくり活動にご参加いただける方を募集しています。各集落の協議会委員または上久下地域づくりセンターまでお声かけ下さい。

★毎月第2土曜日、午後8時より地域づくりセンターで会合を行っています。だれでも参加は自由です。

〔7月のみ13日（日）となります〕

お問い合わせは
上久下地域づくりセンター 0795 78 0001